Power English に意欲的に参加いただき、ありがとうございました。第１回からこの第３回まで、実数で 34 名の中３受験生が一緒に学習しました。その一人一人が高校受験で大きな成果を上げられんことを心より願っております。

毎回提出していただいた感想にも「よくわかった」「やり方がわかった」という言葉を多くいただき、高校入学後も一緒に勉強していきたい気持ちになりました。文法も長文もアプローチの仕方１つで易しくも難しくも感じるのですね。今回はそれぞれがたった 90 分の講座でしたが、これを１年間、３年間続けたらどうなるか想像してください。駒込高等学校で続けてみませんか。

Information:

駒込高等学校の模擬授業を 8/27(土)に説明会と併せて実施します。毎年多くの受験生に訪問いただいています。駒込高等学校のこと、少しでも知ってください。

“７つの鉄則”を守りながら長文問題に挑戦する――今回の Power English の最重要テーマでした。長文が苦手な人は単語さえ覚えれば何とかなると思いがち。しかし、それは幻想であって、読み方を知らない限り“アリ地獄”にはまり続ける、ということが解ったのではないでしょうか。

「正しい方法を継続する」ことが勉強の王道です。長文については、正しい読み方の練習を重ねた先に「単語さえ覚えればどんな英文でも読める」という自信つながります。この順序を決して間違えないことです。

“７つの鉄則”は Power English に参加した人の秘密兵器です。この読み方を続けている限り、ライバルを大きくリードすることは“時間の問題”でしょう。模擬テストで大きな変化が出たら、是非教えてください！

では、解答と解説を始めましょう。

訂正とお詫び

問題文の第２パラグラフ(¶2)の４行目 ×2 million → ○2 billion　（解答に影響するところでした。お詫びいたします）

“７つの鉄則”に従って、意味のカタマリ、チャンクごとに読むようにしましたか。では、パラグラフごとに内容を押さえつつ、各設問に「根拠をもって」答えていきます。

¶1　第１文はトピック（話題）なので、重視ですね。

- 日本人の食習慣→変化した
- 農産物→外国から輸入

¶2

- 農産物の輸入に使う金額について
- 日本１番（グラフ A 決定）

グラフは「億単位」の数字。英語は「billion（十億）単位」の数字。つまり、グラフの数字の十の位で見比べることが大切です。

本文から、（日本－U.K.＝約 300 億）なので、U.K.は「D」が決定。
また、（ロシアーイタリア＝約 200 億）なので、ロシアは「C」、イタリアは「E」が決定。→設問 1 の解答ウ

参考

1,000,000,000

billion　million　thousand

¶3

- 日本なぜ輸入する？２つの理由
- １）日本人の嗜好の変化　２）農地不足

→設問 2 の解答

（ア）「人気がある」という語がはいるので popular が正解

（イ）「そうした料理を作るために使用されるもの」but some things (_____) to cook those dishes

過去分詞の形容詞用法にすればよいことは明らかなので used が正解

→設問 3 の解答

「２つの理由がある」のうちの２番目の理由だから、second が入りそうですが、first, second, third などの「序数」は単独ではなく the や所有格をつけて使います。（重要）だから、the second reason としなければなりません。

Cf. This is my first visit to America.

すると「もう一つの理由」という意味にできる another（もう一つの）ウが正解。

→設問 4 の解答

because the land is in the mountains

and　　is (　　) with trees.

文の構造は上のようになっています。is の主語は両方とも the land です。同じ主語の時は、このように２回目以降は省略するのが普通です。「なぜならば、土地は山の中にあり、また木々に覆われているからです」がもっとも自然です。be covered with～という重要な熟語を連想することができます。従って covered が正解。

¶4

- 日本はいつも輸入可能？
- 外国での自然災害や平和が崩れると→輸入困難

→設問 5 の解答

このパラグラフは、上の内容まとめ（要旨）をみて解るとおり、（②）の解答の根拠はその直後に続く文です。つまり、いつも輸入可能というわけではないので、簡単には「はいそうです」とは言えないというのが正解。従って、エが正解。

→設問 6 の解答

日本語のヒントを参考にして組み立てます。並べかえ問題ではＳとＶしっかり決めることが最重要です。「～がもう一つある」というのだから、There is～の文を連想します。すると、There is another thing.ができあがります。この名詞 another thing に「覚えておかなければならない」という意味の語句が修飾しているわけです。

※名詞 ＋ S+V　これは第２回でやった『関係代名詞』ですね。

There is another thing we should remember.が正解

（thing と we の間には which が省略されていることも見抜けましたか？）

→設問 7 の解答

本文と照らし合わせて、「解答の根拠」を明示しながら答えてください。

ア Now there are many kinds of food in Japan, and more people come to Japan from other countries to eat them.

どこにも書いてない→×

イ Japan spends 30 billion dollars to import a lot of farm products from Germany, Italy, the U.K. and Russia.

¶2 と照合→×

ウ In Japan, people have built houses, shops and other buildings on some parts of the land which is good as farmland.

¶3 の 6-7 行目と一致→○

エ Natural disasters like flood and livestock epidemic damage farm products in all the countries in the world every day.

¶4 と照合→×

→設問 8 の解答

Japan imports many farm products, because the kinds of food Japanese people eat have (changed) and Japan doesn't have enough farmland. But if natural disasters damage farm products or world peace is broken in the world, importing things from other countries will be (difficult) for Japan.

（ア）¶1 の内容より

（イ）¶4 の内容より

英文法と長文の勉強は別ものではありません。しかし、それを結びつけて勉強することが難しいと思っている人もいます。その橋渡し教材をオススメします。自学自習教材として取り組んでみてください。くもんの中学英文読解―中学 1~3 年 (スーパーステップ)